

教科目標		○自分の考えを大切に、目的や場面に就いて的確に話したり聞いたりする能力を高め、話し言葉を大切に育てる。 ○必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。 ○様々な種類の文章を読み内容を的確に理解する能力を高め、読書に親しみものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。				
月	単元・題材名	時数	学習内容	評価規準	評価方法	道徳
4	・野原はうたう ・声を届ける／書き留める／本と出会う／調べる	3	・学習の仕方をつかむ。 ・内容や特徴がよくわかるように朗読する。 ・辞書・インターネットなどの調べ方を活用する。 ・情報を整理してノートやメモに書き留める。 ・要点を押さえてメモを取ることの重要性を知る。	・学習のきまりや授業の受け方について理解している。 ・声の大きさや速さなど、音読を工夫している。 ・辞書・インターネットなどの調べ方について知ろうとしている。 ・集めた情報を整理して記録している。 ・積極的にメモを取る練習をしようとしている。	観察テスト 観察 ノート ワーク 観察ノート	3(2)
		3				
5	・にじの見える橋 ・話し言葉と書き言葉	5	・心情を表す言葉に注目して気持ちの変化を読み取る。 ・話し言葉と書き言葉の違いについて理解し、音声に関心をもつ。 ・話す速度や音量、間に注意して聞き手にわかるようにスピーチを行う。	・心情を表す言葉を見つけ、理解できている。 ・話し言葉と書き言葉の違いを理解している。	ワーク ノート ワーク	2(3)
		2				
6	・友達をみんなに紹介しよう ・ダイコンは大きな根?	3	・的確な言葉を選び、適切な音量でスピーチをしている。	・文と文、段落と段落を接続する語句に着目している。 ・段落の役割に気づいている。 ・三つの図について、説明している内容を理解している。 ・文章に述べられているものの見方や考え方を理解している。	観察・発表 作文 テスト ノート ワーク ノート	1(1) 3(2) 1(5)
		3				
7	・ちょっと立ち止まって ・わかりやすく説明しよう	6	・文章を読み、ものの見方や考え方を理解し自分の視野を広げる。 ・それぞれの段落の働きについて理解する。 ・身近な生活の中から題材を見つけ、わかりやすく正確に伝えるために必要な材料の集め方・選び方を知る。 ・書いた文章を読み直し、わかりやすく伝えるための工夫をする。	・自分の思いや考えを聞き手に伝わるように話している。 ・漢字の組み立てに注目し、部首について理解している。	メモ 発表 相互評価 ノート テスト ノート 作文 ノート テスト	2(2) 2(1) 4(9) 4(9)
		3				
9	・おいしい読書 雪とパイナップル 江戸からのメッセージ ・星の花が降るころに	1	・日常生活の中の話について30秒でスピーチをする。 ・漢字の字形を組み立てと部首から理解し、書体の知識を得る。 ・詩の表現の特徴に着目して読み、描かれている情景を想像する。 ・好きな食べ物を紹介する推薦文を書くことを通して言葉がもつ豊かさを確認する。 ・言葉の単位とその働きについて理解する。	・読書教材を、読書紹介することを意識して読んでいる。 ・印象に残った場面や感動の中心となる場面から語句や表現を引用している。 ・情景描写に着目し登場人物の心情の変化を捉えている。	作品 観察 テスト ノート ワーク	1(5) 2(3)
		2				
10	・大人になれなかった弟たちに・・・ ・指示する語句と接続する語句	4	・場面ごとの情景描写に着目し、そこに描かれている登場人物の気持ちを考える。 ・「僕」や「母」などの行動や描写に着目して気持ちを考える。 ・指示する語句と接続する語句の働きについて理解する。	・時代背景に関心をもちながら情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み作者の思いを捉えている。 ・それぞれの語句の働きや特徴を理解している。	テスト 観察 ノート ワーク	4(10) 4(9)
		2				
11	・項目を整理して伝えよう ・シカの「落ち穂拾い」 ・書写	4	・日常生活の中から課題を決め、伝える事柄、目的、相手に応じて項目を立てて案内文を構成する。 ・筆者の調査の概要をつかみ、図表と文章を対応させて図表の効果を考える。 ・図表を用いた記録の文章を書く。 ・学期全体を通して10時間程度実施する。	・例文を参考に項目ごとに整理し、相手を意識してわかりやすい案内文を書いている。 ・図表と併せて文章を読み、論の展開を理解している。 ・文章と図表を関連させて書いている。 ・楷書で整った字を書こうとしている。	作文 作品 ノート ワーク テスト	1(5) 3(1)
		5				
12	・流れを踏まえて話し合おう ・いろは歌 七夕に思う 蓬萊の玉の枝	1	・話し合いの話題や方向を捉え話したり聞いたりする。 ・仮名遣いに注意して音読し、文語文に読み慣れる。 ・古典の作品を読み、展開に即して内容をとらえる。 ・作品に表れているものの見方や考え方を理解する。 ・故事成語にかかわる文章から、必要な情報を集めるための読み方を身につける。	・話題や方向を考え流れを踏まえた話し合いとなるよう発言をしている。 ・言葉の調子や間のとり方を考えて音読している。 ・仮名遣いや古語の意味を理解している。 ・場面や情景、人物の関係などを読み取っている。 ・故事成語の意味や成り立ちを理解している。 ・故事成語の意味を理解し、由来や故事を説明することができる。	テスト ノート ワーク テスト ノート ワーク テスト	2(5) 4(9) 4(9)
		2				
1	・今に生きる言葉 ・故事成語を使って体験分を書こう ・話題をとらえて話し合おう	2	・集めた故事成語の中から自分の体験と同じ意味をもつ故事成語を使って体験文を書く。 ・バズセッションの方法と進め方を理解し身近な課題について話題や議論の流れを捉えて話し合う。	・集めた中から自分の体験と同じ意味をもつ故事成語を選び、体験文を書いている。 ・バズセッションの方法と進め方について理解し話題を捉えて自分の考えを発言したり話し合いの内容を報告したりしている。	作文 メモ 発表 相互評価	3(3) 2(5)
		5				
2	・文法への扉2 だれが・何を・どうする? ・流水とわたしたちの暮らし	2	・文節の関係と文の組み立てについて理解する。 ・文章の中心となる部分や支える部分を読み分ける。 ・目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりして筆者の考えを捉える。 ・自分の考えをわかりやすく伝えるために書き方や構成を工夫する。	・文の成分について理解している。 ・文章の中心と支える部分を読み取り、筆者の意見を捉え自分の考えをもっている。 ・段落と段落をつなぐ語句に着目し文章を要約している。 ・例文を参考にして調べたことを整理し構成を工夫してレポートを書いている。	ノート ワーク テスト ノート ワーク テスト	4(9) 3(2)
		7				
3	・調べたことを報告しよう ・漢字の音訓 ・少年の日の思い出	4	・展開に即して、登場人物の心情の移り変わりとらえる。 ・表現方法によるリズムや印象の違いや効果を考える。 ・観点を決めて作品を鑑賞し、その魅力を伝える文章を書く。	・言葉の並べ方の工夫や比喻についてそれぞれの表現上の特質などを理解している。 ・観点を決めて作品を鑑賞し、根拠を明確にしてその魅力を伝える文章を書いている。	作文	1(5)
		1				
4	・さまざまな表現方法 ・感じたことを文章にしよう ・文法への扉3 ・単語の性質を見つけよう ・言葉を探検する	1	・音読み・訓読み・同音異義語の使い分けを確かめる。 ・作品の構成や場面の展開に注意して、生き方について考える。 ・展開に即して、登場人物の心情の移り変わりとらえる。	・漢字の音・訓や同音異義語について理解している。 ・作品の構成や場面の展開をとらえることができる。 ・場面の展開をとらえ、「僕」の揺れ動く心情をとらえることができる。	テスト ワーク ノート ワーク テスト	4(9) 1(5)
		7				
5	・漢字の成り立ち ・木は旅が好き ・書写	2	・単語の分類について理解する。 ・言葉について調べたいことを探し出し、集めた情報を整理しポスターにまとめる。 ・漢字の成り立ちと構成を理解する	・自立語と付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について整理し理解している。 ・既習の言葉についての学習からテーマを探し、表やグラフなどを組み入れてポスターにまとめている。 ・象形・指事・会意・形声の漢字の成り立ちを理解している。 ・作者が「木」に託した思いを、詩の中の言葉を手がかりに想像している。 ・行書で整った字を書こうとしている。	ワーク テスト 作品 ワーク テスト	4(9) 4(9) 4(9)
		6				
6	・漢字の成り立ち	2	・詩の中の表現から作者が何をみてどのように感じているか考える。 ・学期全体を通して10時間程度実施する	・作者が「木」に託した思いを、詩の中の言葉を手がかりに想像している。 ・行書で整った字を書こうとしている。	ワーク テスト	3(2)
		2				

合計授業時数 140時間

学習のアドバイス

○国語は日常生活で最も重要な役割を果たしている「ことば」そのものを、あるいは「ことば」を用いた学習をする教科です。したがって日頃から「ことば」を大切に、授業では先生の話や友達の見解をきちんと「聞く」という態度が大事です。「聞く」という行為は、その他の言語活動（「話す」「書く」「読む」）のもとになるので、あらゆる場面で意識しましょう。

○提出物はきちんとやって出しましょう。（ノート、ワーク、漢字帳など）

○週1回漢字テストを実施し、基礎・基本の学力となる漢字の読み書きの力がどのくらい身についているかチェックします。漢字二百字帳に、新出漢字を中心に繰り返し練習していきましょう。

○文章を「読む」力を身につけるには読書に親しんでおくことが最も有効なので、読書の習慣を身につけるようにしましょう。多くの文章に接することにより、人物の気持ちを考える習慣をつけるようにしましょう。